

## 療養病床における病棟薬剤業務に関する調査 記載要領（調査票 A-1～4）

### ◎調査票 A-1「基礎調査（施設基礎および薬剤部門の状況）」の記入方法について

#### 1-1 施設概要について

- (1) 施設名・所在地(都道府県名)・連絡先(電話番号)・担当者氏名・電子メールアドレスをご記入ください。
- (2) 許可病床数および総病棟数（看護単位数）
  - ・3月1日現在、貴施設で承認又は許可を受けている総病床数をご記入ください。
  - ・3月1日現在、総病棟数（看護単位数）をご記入ください。
- (3) 病院種別
  - ・下記の区分に従って、貴施設が該当する病院種別にチェックをご記入ください。
    - 一般病院：貴施設の病床の80%以上が一般病床
    - 療養型病院：貴施設の病床の80%以上が療養病床
    - ケアミックス病院：上記に該当しない病院
- (4) 療養病床および病棟数（合計）
  - ・(2)で記入した総病棟数のうち、一般病棟、回復期リハ病棟、障害者病棟、療養病棟(医療・介護)の数および区分毎の病床数をご記入ください。
- (5) 患者の状況
  - 3月1ヶ月間の入院、外来患者の状況についてご記入ください。

#### 1-2 療養病棟における患者状態像について

- ・3月1日における貴施設の全ての療養病棟を対象に合計数をご記入ください。
  - ・(5)については3月1ヶ月間の合計発生件数をご記入ください。
- (1) 経管栄養実施中の患者数および経鼻、胃ろう・腸ろう等造設毎の内訳数をご記入ください。
  - (2) TPN 施用患者数をご記入ください。
  - (3) 意識障害のある患者の状況、人工呼吸器装着等の人数をご記入ください。
  - (4) 認知症患者の状況およびランクごとの人数をご記入ください。
  - (5) 3月1ヶ月間の肺炎、インフルエンザ等感染症発症数をご記入ください。

#### 1-3 薬剤部門業務の概要について

- (1) 常勤薬剤師数
- (2) 非常勤薬剤師数（常勤換算）
- (3) 薬剤師以外の事務職員数（常勤換算）
  - ・常勤換算は、貴施設の1週間の通常勤務時間（例：40時間）を基本とし、非常勤の勤務時間を常勤に換算して、少数第2位を四捨五入してご記入ください。  
常勤換算=勤務日数×勤務時間×非常勤薬剤師数÷40時間

- (4) 1日平均入院処方せん枚数
  - ・3月1ヶ月間の入院処方せんの合計をご記入ください。
- (5) 1日平均外来処方せん枚数
  - ・3月1ヶ月間に院内調剤した外来処方せんの合計をご記入ください。
- (6) 院外処方せん発行率
  - ・3月1ヶ月間の貴施設の院外処方せん発行率について区分に従い、いずれかに○をご記入ください。
- (7) 薬剤管理指導料について
  - ・3月現在、貴施設における薬剤管理指導の届出の有無についてご記入ください。
- (8) 病棟薬剤業務実施加算について
  - ・3月現在、貴施設における病棟薬剤業務実施加算の届出の有無についてご記入ください。
- (9) 持参薬管理の実施について
  - ・3月現在、貴施設における持参薬管理の実施の有無についてご記入ください。
- (10) 回診同行の状況について
  - ・3月現在、貴施設における回診同行の有無についてご記入ください。
- (11) カンファレンス参加状況について
  - ・3月現在、貴施設におけるカンファレンス参加状況についてご記入ください。
- (12) 退院時サマリー等による薬剤情報提供について
  - ・3月現在、貴施設における退院時サマリー等による薬剤情報提供の有無についてご記入ください。
- (13) 退院時共同指導の実施について
  - ・3月現在、貴施設における退院時共同指導の実施の有無についてご記入ください。
- (14) 介護支援連携指導の実施について
  - ・3月現在、貴施設における介護支援連携の実施の有無についてご記入ください。

ありがとうございました。

引き続き調査票 A-2 「医療安全(インシデント等)調査」にもご協力ください。

## ◎調査票 A-2「医療安全(インシデント等)に関する調査」の記入方法について

- ・調査は療養病棟及び回復期リハ病棟を対象（当該病棟）とし、療養病棟及び回復期リハ病棟で病棟薬剤業務を開始した前後で薬剤師の関与と貢献を比較することを目的にしています。なお、以前から病棟業務に取り組んでいる施設は平成24年3月以前の状況と現在の状況でお答えください。
- ・Q1と2は病棟薬剤業務を開始する前を対象とする調査(開始前調査)です。
- ・Q3と4は病棟薬剤業務を開始してからを対象とする調査(開始後調査)です。
- ・準備段階を経て実施された施設は、その準備前を「病棟薬剤業務開始前」としてください。ここでの薬剤インシデントは病棟（薬局以外）で発生した薬剤関連のインシデント等（ヒヤリハットとアクシデントも含む）を対象にご記入ください。

### 《具体的な記入方法》

- ・貴施設の情報について上段の都道府県名、施設名、担当者、連絡先をご記入ください。  
（※調査票 A-1 に入力したデータが反映されますので、ご確認ください）
- ・以下を参考にしてご記入ください。

### 《入力について》

入力の方法としては、プルダウンメニューからの選択箇所（Q1、3）とチェックを直接入力する箇所（Q2、4）があります。

- 1) **開始前調査**：Q1は1～5をプルダウンメニューにて選択してください。
- 2) **開始前調査**：Q2は複数選択となっています。1～10より該当するものをすべてチェック入力してください。回答欄の口をクリックするとチェックが入ります。チェックを取り消したい時は再度クリックすると外れます。
- 3) **開始後調査**：Q3は1～4をプルダウンメニューにて選択してください。
- 4) **開始後調査**：Q4はQ3で「変化があった」施設がお答えください。  
複数選択となっています。1～7より該当するものをすべてチェック入力してください。回答欄の口をクリックするとチェックが入ります。チェックを取り消したい時は再度クリックすると外れます。

ありがとうございました。

引き続き調査票 A-3「医療安全に関する調査（インシデント等改善事例）」にもご協力ください。

## ◎調査票 A-3「医療安全に関する調査（インシデント等改善事例）」の記入方法について

※ 報告の対象は、平成24年度に発生したインシデント（ヒヤリハット・アクシデントも含む）を対象にご記入ください。

貴施設の情報について上段の都道府県名、施設名、担当者、連絡先をご記入ください。  
（※調査票 A-1 に入力したデータが反映されますので、ご確認ください）

具体的に記入を頂きたい事項についてカラム毎に説明させていただきます。

記入の方法としては、直接入力箇所と上のプルダウンメニューからの選択をおねがいします。

1. 事例は簡潔にて入力してください。
2. 問題点の上段は、上のカラム「①問題点」から、プルダウンメニューにて選択してください。
3. 問題点の下段は、上のカラム「②インシデントの内容」から、プルダウンメニューにて選択してください。
4. 貴施設において、講じられた対策内容を入力してください。
5. 対策内容下段の分析は、上のカラム「③分析」から、プルダウンメニューにて選択してください。
6. 対策内容下段の介入内容は、上のカラム「④介入内容」から、プルダウンメニューにて選択してください。
7. 対策内容下段の介入内容は、上のカラム「⑤変更内容」から、プルダウンメニューにて選択してください。
8. 開始日は、実際に対策を開催された日付を記入してください。
9. 結果は、上のカラム「⑥結果」から、プルダウンメニューにて選択してください。
10. 時期は、上のカラム「⑦時期」から、プルダウンメニューにて選択してください。
11. 評価日は、対策に対して評価を行った日付を入力してください。

ありがとうございました。

引き続き調査票 A-4「チーム医療と医師等の業務負担軽減・改善事例調査」にもご協力ください。

## ◎調査票A-4「チーム医療と医師等の業務負担軽減・改善事例調査」の記入方法について

※報告の対象は、平成 25 年 3 月中に実施した病棟薬剤業務に関連する効果的な取り組みを対象に、事例と件数・時間数をご記入ください。

1. 貴施設の情報について上段の都道府県名、施設名、担当者、連絡先をご記入ください。  
(※調査票 A-1 に入力したデータが反映されますので、ご確認ください)
2. 調査票 A-4 の中段にあります【事例】を一通りお読みください。  
その中で平成 25 年 3 月中(平成 25 年 3 月 1 日から 3 月 31 日)に貴施設が行っている事例を、【No.】の 1 より順にご記入ください。  
・事例はプルダウンメニューにて選択してください。(プルダウンメニューは事例のセル選択していただくと、セルの右端に▼が出ます。そこをクリックしてスクロールで選択してください)  
・項目に無い事例は、中段の分類【その他】にあります【36.~40.】の欄に事項を直接入力していただき、それをプルダウンメニューで選択してください。
3. 選択した事例の、平成 25 年 3 月中に行った総件数を、その右横の【総件数】の欄に、数字で直接入力してください。
4. 選択した事例の、平成 25 年 3 月中に行った総時間数も、最右横の【選択事例にかかる総時間数】の欄に、『分』単位で、数字で直接入力してください。  
・5 時間 30 分の場合は 「330」 とご記入ください。  
・病棟業務日誌をつけているご施設はそちらを参考に算出してください。  
・日誌をつけていない施設は、総件数に 1 件あたりの平均時間数をかけて総時間数を算出していただいても結構です。

項目が小さく、プルダウンメニュー等、少々見えづらい点がございますことお詫び申し上げます。ご了承ください。

以上、ご協力ありがとうございました。

引き続き患者毎の個別調査(調査票 B1, B2)にもご協力ください。

## 療養病床における病棟薬剤業務に関する調査 記載要領（調査票 B-1～2）

### ◎個別調査票 B の記入方法について

- ・調査票 B は患者さん毎の調査ですので、シートをコピーして、患者さん毎に、B-1 と B-2 をセットにしてご記入ください。
- ・まず、患者 ID 登録票に、患者氏名およびカルテ ID をご記入いただき、登録 ID を登録してください。調査票 B-1 および B-2 には患者氏名は記入せず、登録 ID で区別します。

### 調査票 B-1 「入棟(入院)時および調査終了時(退院・転棟等)の状況」

- 1) 登録 ID とともに、患者情報（性別・年齢・主病名）をご記入ください。
- 2) 該当病棟への新規入院日、または他の病棟からの入棟日の患者状況
  - ・服薬自立度：自己管理（服薬に介護を要する場合も含まれます）か病棟（看護師）管理かにチェックをご記入ください。
  - ・服薬方法：経口、経管、経静脈についてチェックをご記入ください。
  - ・入院日（入棟日）持参薬の剤数は、入院時、入棟時の持参薬（前病棟からの処方薬含む）の剤数にチェックをつけてください。
  - ・その持参薬の中で「ハイリスク薬」の有無にチェックをつけてください。
- 3) 退院日あるいは調査終了時の患者状況
  - ・服薬自立度：自己管理（服薬に介護を要する場合も含まれます）か病棟（看護師）管理かにチェックをご記入ください。
  - ・服薬方法：経口、経管、経静脈についてチェックをご記入ください。
  - ・退院日（調査終了時）持参薬の剤数は、退院時処方薬内容、または、調査終了時の処方内容について入院日（入棟日）同様にチェックをつけてください。
- 4) 入院元・転入病棟については、在宅からの入院か、他病院からの入院か介護施設（介護/老人保健施設・グループホーム・特別養護老人ホーム等含む）からの入院かでチェックをお願いします。  
また、院内の他病棟からの転入について3パターンを設定しています。該当するものにチェックをお願いします。  
以上の6パターン以外での入院の場合は、「その他」で選択してください。
- 5) 退院先、転出病棟についても同様に、チェック項目を設定しています。該当するものにチェックをお願いいたします。

### 調査票 B-2 「病棟薬剤師の薬学的ケア介入事例 - 検査提案・処方提案」

- 1) 調査期間中に病棟薬剤師として検査提案・処方提案を行った事例について A 群、B 群、C 群、D 群 よりプルダウンで選択してください
- 2) 週については、介入の年月日を記入すれば自動で計算されます
- 3) A 群での①から⑨に該当しない介入事例は、⑩その他で記入をお願いします。
- 4) 提案の結果、処方薬の中止、減量があった場合の項目は、「薬剤名」は、規格必須。  
「1日薬価の記載」は、●●錠 10mg = 100円の場合 0.5 錠の減量 50、1 錠の中止 100、2 錠の中止 200 とご記入ください。処方提案が実施されなかった場合は、マイナス記号（－）をご記入ください。